

# 麻生リハビリ総合病院だより



結生会 理念

常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する

## 質の高いリハビリテーションの理由 わけ ~セラピストの日常~

当院には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士あわせて約 130 名のセラピストが所属しております。患者様に早く良くなっていただきたい一心で、日々研修会や勉強会を行い、患者様に最善のリハビリテーションを提供できるよう励んでおります。セラピストたちは患者様に楽しく、安全にリハビリテーションを受けていただけるように日々活動しており、その日常の一部をご紹介します。

### リハ総園芸便り



### 園芸療法

患者様と一緒に正面玄関横にある鉢植えの植物を育てています。「成長が楽しみ」「季節を感じられてうれしい」等のお声をいただいております。



### 訪問リハビリテーション

当院を退院された方を対象として、ご自宅で安心・安全に生活していただけるように、ご自宅での生活に合わせたリハビリテーションを実施しております。

### 屋外歩行訓練

歩行訓練場所の川沿いは桜の名所にもなっており、春には満開の桜を楽しみながら歩行訓練ができます。春先にはかわいらしい親子連れのカルガモを見ることができます。



### 勉強会・症例検討会

安全で質の高いリハビリテーションを提供するため、院内勉強会や症例検討会を定期的に行っています。人前で発表することで理解度を深め、考えを言語化する能力を高めています。



一緒にがんばりましょう!

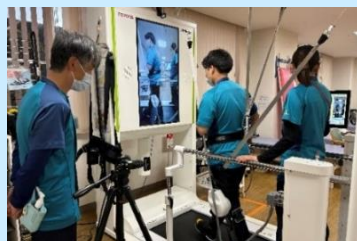
### 装具検討会

患者様に合った装具を選ぶことも、セラピストの大事な役割です。リハビリテーション科の医師と共に、患者様に最善の装具を検討しております。



### ウェルウォーク WW-2000 研修

ウェルウォークは脳卒中などによる片麻痺で歩行障害がある患者様に、歩行の改善を目的として使用するリハビリテーション支援ロボットです。患者様一人一人に最適なアシスト量を調整するには、セラピストの経験や知識が重要です。





# 2023年診療実績 大公開！

※当院ホームページにも診療実績を掲載しております。

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期治療を終えた後、さらに医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者様に対して、多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

退院後の生活を見据えて、起床から就寝までの間、食事や着替え、排泄、入浴など、日常的な動作も含めた入院生活そのものをリハビリテーションと捉え、医師、看護師、リハビリテーション専門職、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、その他多職種でサポートしております。

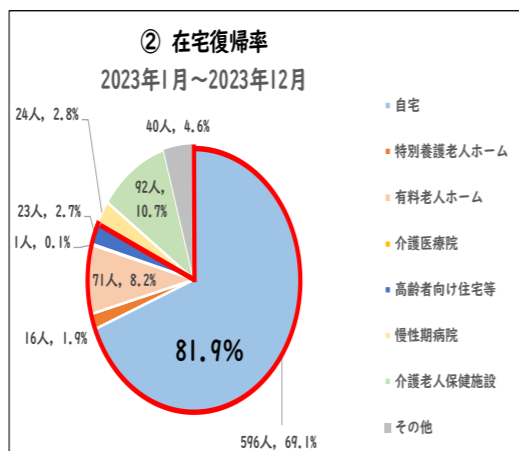
| 回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件    | 当院の診療実績            | 図表番号 |
|----------------------------|--------------------|------|
| リハビリテーション実績指数              | 40以上 <b>53.2</b>   | ①    |
| 自宅等に退院する割合                 | 70%以上 <b>81.9%</b> | ②    |
| 重症患者の割合                    | 40%以上 <b>46.2%</b> | ③    |
| 退院時の日常生活機能評価（FIM16点）以上改善割合 | 30%以上 <b>71.4%</b> | ④    |

当院は川崎市No.1の回復期リハビリテーション病床(180床)を有しており、365日を通して様々なリハビリテーションを提供しております。

## ① 実績指数

| 2022/4~<br>2022/9 | 2022/7~<br>2022/12 | 2022/10~<br>2023/3 | 2023/1~<br>2023/6 | 2023/4~<br>2023/9 | 2023/7~<br>2023/12 |
|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 51.9              | 52.5               | 51.0               | 50.4              | 51.9              | 55.7               |

実績指数40以上の要件に対して、1年間で**53.2**、直近では**55.7**と大幅に上回る実績となっております。



## 在宅復帰率（退院先内訳）

| 退院先       | 人数          | 割合            |
|-----------|-------------|---------------|
| 自宅        | 596人        | 69.1%         |
| 特別養護老人ホーム | 16人         | 1.9%          |
| 有料老人ホーム   | 71人         | 8.2%          |
| 介護医療院     | 1人          | 0.1%          |
| 高齢者向け住宅等  | 23人         | 2.7%          |
| 慢性期病院     | 24人         | 2.8%          |
| 介護老人保健施設  | 92人         | 10.7%         |
| その他       | 40人         | 4.6%          |
| <b>合計</b> | <b>863人</b> | <b>100.0%</b> |

その他：他科への転棟（一般病棟除く）など

## 重症患者とは？

食事摂取や衣服の着脱、トイレ動作など患者様が日常生活で必要とする機能の状態を示す評価（日常生活機能評価）が10点以上の方のことです。総得点は0～19点で評価され、得点が高いほど自立度が低くなります。

退院した重症患者のうち、日常生活機能評価が4点以上改善した重症患者の割合または、FIMが16点以上改善した重症患者の割合

|       | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|-------|-------|-------|-------|
| 重症患者数 | 414名  | 397名  | 416名  |
| 改善者数  | 309名  | 284名  | 297名  |
| 改善率   | 74.6% | 71.5% | 71.4% |

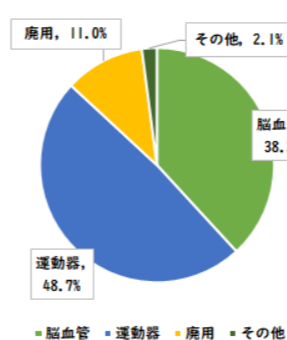
## FIMとは

「Functional Independence Measure」略語で、日本語で「機能的自立度評価法」という意味になります。FIMの評価項目は、運動項目と認知項目の計18項目で、各項目を1点～7点の7段階で評価します。コミュニケーションや社会的認知などの認知項目を含むため、実際に日常生活で行っている動作を評価する、変化を確認するのに最適な評価方法です。

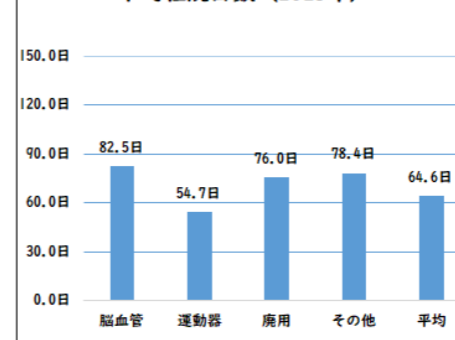
## ADLとは

「Activities of Daily Living」の略語で、日本語では「日常生活動作」という意味になります。日常生活を送るために最低限必要な日常動作で、「起居・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」といった動作のことです。

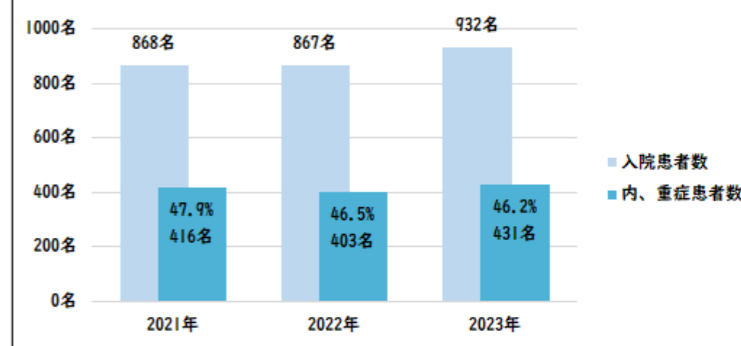
## 疾患別入院割合（2023年）



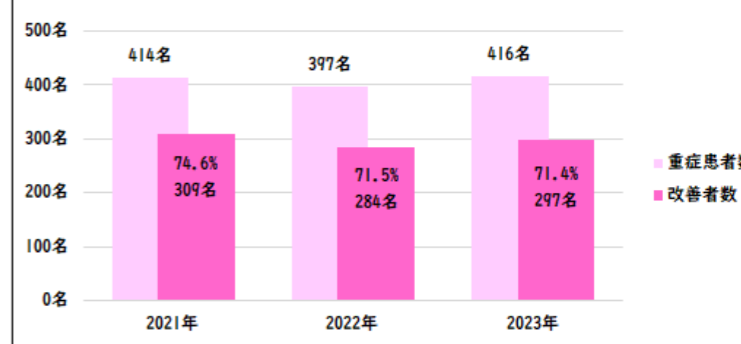
## 平均在院日数（2023年）



## ③ 入院患者数に占める重症患者割合



## ④ 退院時重症者数に占める改善率



入院時に重症患者とされた方の退院時改善率は**71.4%**と非常に高い実績となっております。

一般的に発症から入棟までの期間が短いほど、高い改善が認められると言われており、当院では、病状の安定した患者様を早期に受け入れられるよう急性期病院との連携強化に努めております。

## 実績指数とは

ADLの評価法の1つであるFIM（機能的自立度評価法）を用いて、入棟期間中にFIM運動項目がどれだけ改善したかを指標化したものです。入院している期間が短いほど、また、ADLの改善度が大きいほど実績指数は高くなり、数値が高い病院ほど、短期間で効果の高いリハビリテーションを提供する病院と言えます。2016年の診療報酬改定で導入され、当院が届出をしている施設基準「回復期リハビリテーション病棟入院料I」では2020年の診療報酬改定で、実績指数が40以上であることが要件とされております。また、実績指数は下記の計算方法で表すことができます。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{退院時のFIM運動項目の得点} - \text{入院時のFIM運動項目の得点}}{\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

## 研修医の先生をお迎えしました

1月4日から約1ヶ月の間、川崎市立多摩病院より前期研修医である神丸香純先生をお迎えしました。急性期病院を退院された患者様が多職種連携のもと「当院のリハビリテーション・病棟生活を通じてどのように退院されるのか」「退院後の訪問リハビリテーション・訪問看護を利用しどのような生活を送られているのか」、一連の流れに理解を深めていただきました。

院内のみならず、法人内の他事業所スタッフのご協力をいただき、当院ならではの研修を行うことができました。

神丸先生には、毎日とても熱心に取り組んでいただきました。

「訪問リハビリテーション」に同行し、利用者様ごとに異なる生活環境でのリハビリテーションを、肌で感じていただきました。



リハビリテーション科外来では、ボトックス療法や装具の調整など、専門外来に取り組んでいただきました。

## 神丸先生よりお手紙をいただきました！

1ヶ月間の研修をさせていただきました。  
主にリハビリ外来、家庭評価、訪問リハビリ、訪問看護などを見学させていただきました。  
私の研修している川崎市立多摩病院は急性期病院であり、緊急や重症の状態でも入院しやすく、回復期リハビリテーション病棟への転棟もスムーズに行われています。  
ご指導くださった先生方、暖かく接してくださったスタッフの皆様、本当にありがとうございました。  
特に、ご協力くださった患者様、ご家族の皆様には感謝申し上げます。  
この経験と糧に今後も精進してまいります。  
川崎市立多摩病院 研修生 神丸香純

今後のご活躍を楽しみにしております！

## ホスピタルズ・ファイル掲載のお知らせ

全国の頼れる病院・総合病院・大学病院の検索サイト『ホスピタルズ・ファイル』にて、当院の記事が掲載されました。菅直樹院長がインタビュー形式で病院紹介をしておりますので、ぜひご覧ください。



こちらのQRコードからご確認ください！





# ～当院の 職員研修 をご紹介～

## 合同症例報告会

麻生リハビリ総合病院  
麻生総合病院

リハビリテーション科では、法人内の急性期病院である麻生総合病院のリハビリテーション科と、短期の交換人事異動や症例リレー、合同での症例報告会を定期的に行っております。

手術等により急性期病院に入院された患者様は、手術後早期にリハビリテーションを開始されます。その後、回復期リハビリテーション病院である当院へ転院された場合は、ご退院されるまでの間、集中してリハビリテーションを行っていただくことができます。

症例報告会等を通して急性期でのリハビリテーションを知ることは、回復期へ転院後の患者様一人ひとりに合わせた、具体性のある目標設定を行うことや回復期リハビリテーションをスムーズにご提供することに繋がると考えております。

早い段階で患者様と信頼関係を築き、退院に向けての目標を一緒にイメージしながら、安心してリハビリテーションに取り組んでいただきたいと思っております。



## ハラスメント 防止研修

2024年1月、法人内の事務系職員を対象にインストラクターによる『接遇研修』を実施しました。医療現場で求められる接遇マナーの基本を実践的に学ぶことにより“第一印象の大切さ”を再確認し、現場での自身の対応を見直す良い機会となりました。

また1～3月にかけては、法人全職員を対象とした外部講師による『ハラスメント防止研修』が行われました。ハラスメントの定義や原因を学び、ハラスメントのない職場風土づくりについて、グループワークも交えて意見交換しました。職員が働きやすい職場をつくるために、一人ひとりが自分事としてハラスメント防止対策を考える貴重な時間となりました。



講師による講義



グループワーク



対策のまとめ

## 医療接遇 研修セミナー

職員一人ひとりが研修で得た学びや気づきを活かすよう、日々の業務で実践しております。

## “ロコモ健診” ご存じですか？

立つ・歩く・作業するといった運動に必要な筋肉や骨、関節に障害が出てしまい、身体能力が衰えた状態をロコモ(ロコモティブシンドローム)といいます。ロコモ健診では、経験豊富な理学療法士が“立つ、歩く”といった運動機能が低下してきているかを計測するほか、筋力やバランス能力、歩行能力のチェックをおこない、体操や日々注意すべき点をアドバイスさせていただいております。

当てはまることはありませんか??

筋力が落ちているが  
どうしたらいいのかわからない

何もないところ  
でつまずく...

階段の昇り降りが辛い...

## ロコモ健診 ご予約専用電話

電話: 044-981-6832

受付時間: 9:00~16:00(月~金曜日)

お電話で「ロコモ健診希望」とお伝えください。

ロコモ健診実施日: 毎週金曜日 14:00~

